

枕崎市

鹿児島県立鹿児島水産高等学校

団体の紹介・活動の目的

本校は明治43年に設立され、今年度で創立107周年を迎えます。「海洋科」、「情報通信科」、「食品工学科」の3学科が設置されており、各分野で専門的な知識・技能を習得します。また、専攻科課程が設置されており、本科で身につけた専門的な技術や知識をより深く学び、上級資格を目指しています。主な構成員として教職員60名、生徒人数327名の学校です。

自校や地域の特性を生かし、地域の様々な主体との協働により自校だけでなく地域の活性化に貢献しようという方針から、水産に関する知識や関心を高めてもらう活動をはじめ、商品開発や産業おこしに係る事業を積極的に実施しています。

また、今年度も多様な主体との協働による新たな研究テーマや事業を行うことを計画し、コミュニティづくりや地域貢献に努めています。

活動の内容

- (1)専門性を生かし教諭自ら出前授業を行い、児童生徒に地域の水産業についての知識を高めてもらう活動を行っています。また、マダイやヒラメの種苗放流事業を行い、地域の水産資源保護の意識を高める活動を行っています。
- (2)地元の様々な主体と協働して稚内市と商品開発に取り組む「昆鯉プロジェクト」や伝統的な鯉の捌き方やワラ焼きによるタタキ作りをPRする「かつお捌き隊」などコミュニティづくりや地域活性化に取り組んでいます。

連携・協力している団体など

枕崎市役所、枕崎市漁業協同組合、枕崎水産加工業協同組合、枕崎商工会議所、枕崎お魚センター、地元企業など

①



「放流事業」

本校で種苗生産・飼育しているヒラメを各地で小学生等に放流していただいている。写真は枕崎市で行われた「豊かな海づくり放流祭」で地元の小学生が放流している様子です。

②



「コンカツプロジェクト」

コンカツプロジェクトの一環として枕崎市と稚内市の特産品を融合した昆鯉料理を稚内高校と共同開発し、その料理がジュニア料理選手権において準グランプリを受賞しました。

③



「出前授業」

「いつでも どこでも 誰にでも」を合い言葉に幼稚園児から高齢者まで幅広く水産教育を行っています。写真は中学生対象にダイビング指導を行っている様子です。

④



「海浜清掃」

枕崎市では毎年「海の日」に合わせて海浜清掃が行われます。海をフィールドとする本校では地域貢献の一環として毎年、生徒・職員・保護者合わせて200名以上が参加しています。